

同窓会報

令和6年3月14日発行
専修大学北上福祉教育専門学校
同窓会事務局
〒024-8513 岩手県北上市鍛冶町一丁目3番地1
TEL (0197) 61-2131 FAX (0197) 61-2423
印刷：川嶋印刷株式会社

保育科59回生



福祉介護科32回生



学校の最近の様子



北上みちのく芸能まつり市民パレードの表彰



第一体育館はグラウンドに



整備を整えた第2体育館がメインに



第2体育館は上下2面使えます

令和6年度 同窓会総会ご案内

日時：7月6日(土) 15時～
会場：専修大学北上福祉教育専門学校
合同講義室



令和5年7月1日に行われた同窓会総会

3年ぶりとなりましたが、本校の教室を借り開催することができました。
総会後は校内の見学や先生方、同級生との情報交換の話題で盛り上がっていました。
次年度の総会も皆様のご参加お待ちしております。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大にともない今年度も編集委員会はメール等でを行いました。会報作成に協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。

同窓生数

保育科 3,650名
福祉介護科 1,287名
合計 4,937名
(令和6年3月31日現在)

◎各支部会の令和5年度の活動はありませんでした。

会報発行に寄せて



同窓会長
石川 仁

同窓会員の皆様、日々お変わりございませんでしょうか。今回も本誌第27号を発行することに至り、ご協力をいただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和6年が始まって年頭の能登半島地震、容赦ない自然の力を思い出させられました。被災されました皆様におかれましては深くお見舞い申し上げます。

震災の苦勞を知っている事もあり、テレビでの深刻な現状を目にすると心が痛むばかりです。今、各所で復旧作業が始まっていますが、水道、電気の復旧は本当にありがたいものでした。あの頃は介護、保育面でも工夫しながらその時の最良の判断で、ご利用者を支えたのではないのでしょうか。

同じ業界の立場から皆様のご苦勞に感謝とエールを、そして各地からの支える力で一歩ずつ日常の生活を取り戻して頂ける事を切に祈るばかりです。

さて、本誌最終稿にもあります通り、令和5年度の同窓会総会が本校の講義室をお借りして3年越しの開催に至る事ができました。長年行われてきた総会の再開を無事に果たし安堵と感謝の思いであります。

そして、本年は本校創立60周年の記念の年となります。同窓会員も総勢5000人という数字も見えてまいりました。それだけ、地域社会に確かな資格と技術で地域の保育、福祉業界を支え引っ張ってこられた証でもあります。

これからも地元根付いた本校を同窓会一丸となって支えてまいります。また、新たに加わる同窓会員の後方支援も引き続きよろしくお願い致します。

末文になりましたが、いつも同窓会の為にご尽力いただいております校長先生をはじめ諸先生方に深く感謝申し上げます。

専修大学北上福祉教育専門学校同窓会役員

会長	石川 仁
副会長	高橋 妃志子
会計監事	鈴木 まり子
事務局員	西岡 瞬
	水上 賢一
	菊池 拓真
	山本 瑞穂
	高橋 佳奈
	伊藤 歩
	都鳥 由香
	千田 裕之
	及川 駿



ホームページアドレス <https://www.kitakami-fukushi.ac.jp>
メールアドレス senshu-u-fukusi@themis.ocn.ne.jp

同窓会に期待する事

令和6年1月3日、羽田から松山へ。当日午後6時、会場に約100人の同窓が集合。時の経過を感じながら、歓談。一瞬にして高校時代の話題がそれぞれのテーブルで語られます。特に厳しい練習で名を馳せた剣道部は8名中、6名が参加。思い出深いほど、集まるようです。翌日の羽田行きが欠航となり、JR自由席で帰京したことは別として楽しいひと時でした。

本日、専修大学北上福祉教育専門学校を卒業した皆さんも、同窓生の仲間入りです。同窓で



学校法人北上学園
理事長 宮岡 孝之

集うと、ともに過ごした2年間の思い出が蘇ります。そして、専門学校での学びを振り返り、専門学校の良さをアピールする機会を大切にしたいと思います。

役員の方々には種々お手数をお掛けしますが、仲間が楽しく集える機会をもつて頂ければ幸いです。

今後の専修大学北上福祉教育専門学校同窓会の発展をお祈りします。

同窓生の皆さまへ



校長 六本木 郁子

令和五年度、保育科は第五十九回生四十七名、福祉介護科は第三十二回生二十八名が卒業し、本校の同窓生は両科合わせて四、九三七名となりました。

時代とともに、専修大学北上女子専門学院(女専)、専修大学北上保育専門学校(保専)、専修大学北上福祉教育専門学校(KTS)と校名は変わりましたが、両科全ての同窓生の皆さまにおかれましては、それぞれの職場や地域で活躍なさっておりますこと、心から敬意を表します。

四月、保育科六十三名、福祉介護科三十五名が入学し、在校生百七十四名で新年度をスタートいたしました。五月にコロナが五類に移行し、徐々にではありますが学校生活も以前の活気を取り戻し、七月全校での卯の木交流会、八月北上市民パレード通常参加、九月学園祭一般公開、十一月の保育科夢のキラキラ音楽会や十二月の福祉介護科事例研究発表会も、多くの方に見て頂くことができ、学生の成長に繋がったように感じています。

同窓生の皆さまと連携させて頂いている入試制度「同窓

生推薦受験生の受験料免除制度」は、三年目になります。(科に関係なく、入学願書に同窓生の氏名、推薦理由や受験生との関係、卒業証書番号等の必要事項を書いて頂く。受験生の受験料二万円が全額免除となる制度です)AO入試以外が対象。今年度も、ご家族、親戚、地域の方、知人、後輩等を多くの皆さまに推薦頂きました。今後とも、保育・介護の分野、本校の紹介をお願い頂ければ嬉しです。

来年度は、学校創立六十周年を迎え、マスコミやキャラクター作成や記念式典等の記念事業を計画しております。HPやSNSから学校の様子等を随時発信しておりますので、気軽に見ていただければ幸いです。また、学園祭は九月十四日(土)に予定しています(詳細はHPに掲載いたします)。是非、皆さんでいらしてください。楽しみにお待ちしております。

同窓生の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念すると共に、これからも、母校への更なるご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



令和四年度卒業生から

保育教諭として



保育科58回生 柴田 麗羽

私は現在、3歳児の副担任として認定こども園で勤務しています。初めの頃は仕事内容や保護者との関わり方、安全を配慮した環境作りなど分からないことが多く、不安や緊張の毎日でした。そのような中で先輩の先生方から先を見据えた行動や興味の引き寄せ方、怪我やトラブル時の対応方法などたくさんのお話を毎日学ばせていただいています。専門学校での学びや実習は終えましたが現場に来てからも学び続ける毎日日々成長していきたいと思っています。

また実習とは違い、長い目で成長を見守っていくにあたってより信頼関係の構築や子どもたちを理解した上でのかかわりが求められました。先輩の先生方と同じ言葉を子どもたちにかけても耳を傾けてもらえるわけではなく、日々の丁寧なかかわりを積み重ね、その中で少しずつ培われた信頼関係があるからこそ子どもたちに響く声かけになるのだと感じました。

今後は担任をもつたり前になる機会が増え、今まで以上に大変に感じたり自分自身でできるのか悩むこともあると思います。そのときは先輩の先生方からアドバイスをしていただいたり、どのような思いをもって保育をしていくべきなのか、何度も自分の中で確認しながら子どもたちと向き合っていこうと思います。

子どもたちとかかわって1年が経とうとしていますが、未だ日々変わる子どもたちの姿に戸惑いながらもより良いかかわりを求め試行錯誤する毎日です。子どもたちにとって初めての集団生活の場である園で、自分を表現しつつも相手を受け入れ、共にかげがえのない時間を過ごしながら大きく成長してもらえよう、保育教諭として一人ひとりに思いのこもった丁寧なかかわりをしていきたいです。

生活を支える



福祉介護科 31回生 及川 理紗

私は現在、奥州市の特別養護老人ホームで働いています。入職してからの日々は覚えることもたくさんあり、忙しく大変な日々でしたが、同時に充実した日々だったとも感じています。

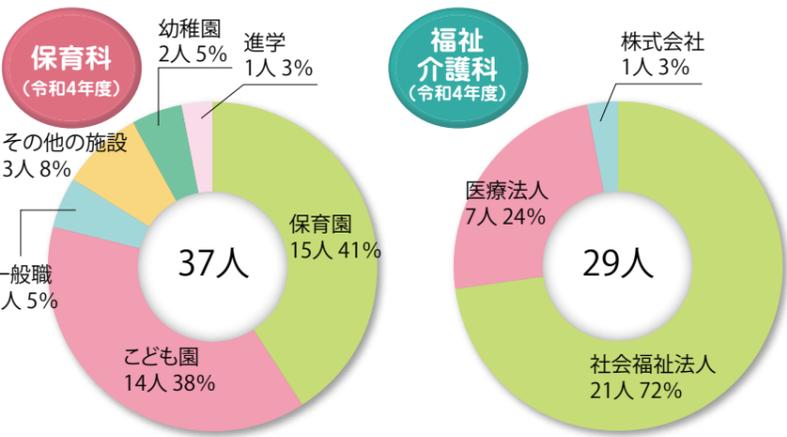
私が勤務しているのは特別養護老人ホームなので、入居者様はここに住んでいて、ここで日常を過ごしています。そのような日常を滞りなく、その人らしい生活を送れるようにサポートすることが私の仕事です。

入居者様の生活は十人十色、それぞれ必要としているサポートも違います。朝早くに起きてこれられる方や、朝食が来るまで寝ていた方、『今日はとても眠いから寝ていたい』方など、朝の過ごし方だけでも、その日その人によって違います。私たちは入居者様それぞれが持つこうしたいという考えや思いを大切に働いています。

また、もう一つ大切にしていることは、コミュニケーションを図ることです。お話し好きな方、そうでない方もいますが、相手の挨拶から始まり、季節の話題、テレビの話題と、他愛のない会話を繰り返して少しずつ利用者様との仲を深め、利用者様を知ることができました。会話をすることで普段あまり笑顔をみられない方の笑顔を見られた時には、とても嬉しく、私まで笑顔になりました。少しでも利用者様の日常に笑顔が増える助けができるように頑張っています。

KTSを卒業し、入職してもうすぐ1年が経ちます。初めの頃は介助の仕方を覚える事で手一杯でしたが、今では入居者様の思いを意識して仕事をできるようになり、少しは成長したかなと感じています。私がここまで成長できたのは、親身になってアドバイスしてくれた先輩職員の方々のおかげだと思っています。まだまだ学ぶ事がたくさんある日々です。学びを得て、よりその人らしい日常のサポートができるように頑張っていこうと思っています。

卒業生の就職先状況



- 1 卯の木交流会 7月開催
- 2 傾聴ボランティア (福祉介護科) 11月開催
- 3 専北高校クリスマスマーケット 12月開催
- 4 生活支援技術IIの授業 (福祉介護科)
- 5 学園祭 9月開催
- 6 北上みちのく芸能祭り市民パレード 8月開催
- 7 研修交歓会 (保育科) 6月開催
- 8 北上幼稚園園児とハロウィン (保育科)
- 9 夢のキラキラ音楽会 (保育科) 11月開催